

今昔田

特集・写真で綴る



▲手引坂下から見た校舎

昭和初期の同所▶

◀三田警察跡地一帯に建つ

三田国際ビル

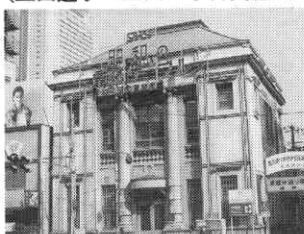


◀慶應仲通り商店街



▼明治から変わらぬ西洋館

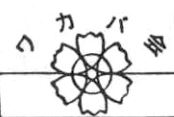
(三田通り・三田二丁目交差点)



▼再開発の進む田町駅前



わかば



特集・写真で綴る三田今昔
今号の特集は「三田今昔」です。表紙は現在の三田界隈の表情を中心に、また5〜7頁は母校の変遷を、それぞれ写真で綴ってみました。

第55回 同窓会総会の御案内

日時：平成 4 年 5 月 24 日 (日)
午後 1 時～4 時

会場：母校音楽講堂

議題：平成 3 年度事業報告／決算報告
平成 4 年度事業計画／予算案審議

会費：1000 円

▶議事終了後、親睦パーティ及び、福引大会を行います。軽井沢山荘宿泊券のほか、豪華な商品を多数用意して、会員の皆様のご出席をお待ちしています。

▶今春卒業の新入会員の皆様には、新入会員名簿を進呈。しかも会費は不要です！ぜひご出席下さい！

▶4 月 29 日の総会はありません。

会員の皆さまへ

会長 若菜 允子



会員の皆さまには、お元気で過ごすごしのこととおよろこび申し上げます。

この一年をふりかえってみますとワカバ会にも会員の皆さまから様々な活動の様子が出来られ、力強くうれしく思っております。そして、ワカバ会が皆さまのご活躍を結び合わせる一つの要になるようにと考えて、理事の皆さまと力を合わせてその運営にあたっております。

ご承知のように、運営委員会では夏の軽井沢でヨガ教室・ゴルフコンペ・コーラスの集い・会員によるお話の会などを企画し、多勢の皆さまに和気あいあいとし、楽しい一時を過ごしていただき、あらた

めてワカバ会の存在を身近に感じていただいております。また企画委員会でも、一日見学会や史跡を訪ねる会など、本当に楽しくかつ有意義な企画をたて、会員の皆さまに貴重な体験をして交流を深めていただいております。

いま、私たち日本人は、ゆとりある生活を求めそのライフ・スタイルを大きく変えようとしています。これは、結局私たちが「生きる」ということの意味をあらためて問い直すということでもあると思いますが、ワカバ会の企画するささやかな催しも、そのためにいささかなりともお役に立てることを願っています。

なお、今年は新しい名簿が発行されます。事務所の皆さまが苦勞を重ねて集められた最新の情報をもとに作成されるものですから、会員の皆さまのお役に立つものになると思います。

どうか今後ともワカバ会の発展のためご協力下さいますよう、よろしくお願いいたします。



平成三年度 先生方のご異動

ご勇退ご転出された先生方			
山口	晋	化 学	八王子東高校
大澤	光美	英 語	小山台高校
鈴木	文子	英 語	筑波大付属駒場中高校
羽野	みき子	家 庭	松が谷高校
谷岡	襄一	主 査	建設局
岡田	智子	主 任	養育院
岡嶋	潤	主 事	千代田区
市川	裕子	P T A	
ご転入された先生方			
石井	愛彦	化 学	城東高校
森	伸二郎	英 語	桜木商業高校
山崎	朝子	英 語	芝商業高校
阿部	智子	家 庭	永福高校
戸部	健一	主 査	鹿浜第一小学校
古澤	進太郎	主 任	保谷第二小学校
中沢	美巳	主 事	新規採用

学力とは

名誉会長 依田 好雄

「ケン玉のチャンピオンを優先入学させてよいのか」という論争をきっかけに、大学の芸一能入試の在り方が話題を集めています。その是非はともかくとして、これが「学力とは何か」という問題に一石を投じたことは確かです。

一方、近い将来、学校週五日制の導入が予想されています。そして、この週五日制への移行に当たっても、「学力をどう捉えるか」が基本的な大きな課題となります。いうまでもなく、学力観は教育における最も本質的な問題であるわけですが、週五日制への対応という方法論として考えた場合でも、避けて通れない問題となります。例えば、「週五日制になっても教育水準を落すな」という強い意見があります。しかし、もし学力を知識中心のものとし、教育水準を学校による週六日制の教育を前提としたものであるとすれば、到底不可能なことです。コップ六杯分の水を五つのコップに移すことはできません。建て前と本音が一致しにくい極めて難しい問題ですが、やはり、学力観を改めることが必要となります。学力を単なる知識や技能の量としてでなく、その後の学習や生活に生きて働く資質や能力として捉える必要があります。やはり、体験を通して学ぶことが大切となります。したがって、学校だけでなく家庭や地域社会が重要な学習の場となるわけです。

ところで、本校は二年後に創立七十周年を迎えます。近々その準備に入る予定ですが、華美に流れず、心のこもった祝事にしたいと考えています。その節は、六十年と同様に皆様方の御協力をお願い申し上げます。



音 信

関西方面の集い

18 イ 竹山 敦子

〈関西支部だより〉

年三回の例会を誇る我が関西支部は益々快調に楽しいお集りを続けています。新年会は 1・26・格調高くロイヤルホテルで。会友の御参加も得て、シャンソン、カンツォーネ、サクスの独奏もはやり、心涌きたつ若やぎの集い。当日は替歌なども歌いました。▼春 5・14・ジンベエザメで有名な巨大水族館、海遊館見学。海の生物達の生き生きとした生息に一同感激。▼秋 10・23・お洒落な神戸の新名所、オパールに繰込み、見事な眺望の新神戸オリエンタルホテル桂林で中国料理。食後は附近の異人館水の科学博物館等自由散策、下の写真は海遊館でのスナップです。関西方面に御転居のワカバ会の皆様。是非支部へ御一報下さいませ。

〈阪神地区新年会〉

二月一日、阪神地区の新年会が開かれました。会場は、大阪城にほど近く、卒業生が社長のホテル

とあつて、アットホームな雰囲気では進行、料理も美味しく話もはずみ、当世風のカラオケでは思わぬ美声の持主が次々と登場、ゲームコーナーでは、ジャンケンでペアの負組が載っている新聞紙を次々と折疊むパツで、最後には友をオンプして勝負を挑むというハッスル振りも生れ、老も若きも大いに盛り上りました。共に過した学び舎の地、東京を離れて十一年、本音で話せるワカバ会の空気を吸いに年三度の会に集います。会果てて廻った大阪城公園では今を盛りと咲匂う鶯宿、東雲等々凍てついた冬日もものは見事な観梅を楽しみました。



十回を重ねた一回生同期会

1 B 根岸 ひで

私も一回生は、古稀もすぎた大方心身に余裕のできた昭和五十七年から、毎夏八月末に軽井沢山荘で二泊三日(第一回は一泊二日)

の同期会を催してきましたが、本年(平成三年)、第十回を無事にすませることができました。

今回は一日目の往路に、埼玉県行田市の「さきたま資料館」を見学。中日は快晴に恵まれて、白根山に登り、エメラルドグリーンに静まり返ったお釜を見学しました。三日目は、夜半から襲った十四号台風のため、朝のうちはどうなることかと心配しましたが、出発を三十分延ばしている中に、雨も止み、風も納まって、例年通りレマン湖畔の散策、プティック覗きや買物もできて、無事に帰ることができました。

この同期会が十回も何の事故もなく、毎回楽しく続けられました陰には、中心となつて、企画、運営、会計まで、一切に誠心誠意よくお世話をして下さった高橋登志様、秋山初枝様、倉田君恵様(特に各種のスナップや集合写真に腕を揮われた)お三方の、並々ならぬご尽力があったからです。お三方には一同心から感謝申し上げます。十回でちょうど区切りがよいから終わりにしたいのご意見もあるのですが、私どもとしては、こんなよい催しをあと何回でも続けて頂ければ、切に思う次第です。今までの同期会の中で、殊に印

〈支 部 連 絡 先〉

札幌	5エ	臼居 和子	〒064	札幌市中央区南17条西12丁目	011-561-8810
東北	7ウ	寺嶋 辰代	〒981-04	宮城県桃生郡鳴瀬野蒜字北赤崎32-7	02258-8-2028
浦和	18.4オ	中村 泰子	〒336	浦和市前地3-5-12	048-885-7476
千葉	17-6	進藤英津子	〒260	千葉市磯辺6-6-10-304	0472-77-3469
湘南	19ウ	片山アキ子	〒251	藤沢市辻堂西海岸2-8-3-207	0466-35-3435
静岡	18.4イ	田中 和子	〒420	静岡市五番町20	0542-52-8831
名古屋	15イ	小林れい子	〒446	安城市池浦町池西206	0566-76-6819
関西	1C	辰馬 進	〒662	西宮市霞町5-20-304	0798-33-0961
京都	1D	米田 道子	〒651	京都市右京区西院東淳和院町33	075-311-2480
福岡	2E	富田 保子	〒812	福岡市東区貝塚貝塚団地5-45	092-641-0381
大分	4-4	工藤 延子	〒870-02	大分市政所473	0975-92-0480

★伊東玲子 高4-6 第九回ソプラノリサイタル「日本の歌の夕べ」

一九九二年六月二十三日(火)午後七時 津田ホール
問合せ 03-3322-4963 日本オペラ振興会

平成3年春の叙勲で、長谷部正治先生(第10代校長)が「勲四等瑞宝章」を受けられた。長年教育にご尽力され、海外子女教育の推進にも貢献された功績によるものである。

受 章

平成3年秋の叙勲で、岸辺従さん(9ウ)が、「勲四等瑞宝章」を受けられた。岸辺さんは山田流箏曲演奏家藤井千代賀さんとしての活躍が認められたものである。

象に残る楽しかった想い出に、喜

寿祝のパーティーと、今回の十回

記念パーティーがあります。お料

理方が一段と腕を揮われた大ご馳

走、センスのよい福引きの数々、

会食後全員サロンに集っての二次

会、少女時代に帰って声を張り上

げての数々のコーラス、いつまで

も続けたい夜でした。

また毎回おこなわれる中日のバ

ス旅行では、八が岳原生林を歩き

御泉水自然園や白駒池へ行ったこ

と。別所温泉で前山寺三重の塔を

見学し、クルミおはぎに舌鼓を打

ち、安楽寺の国宝八角三重の塔を

見たり、北向観音にお詣りしたこ

と。北沢美術館やシャガール美術

館での美術鑑賞。またある時は、

群馬県と長野県の境界「車坂峠」

を経て、新鹿沢温泉に入ったり、

等々、どの回の同期会も、それぞ

れ楽しい思い出でいっぱいです。

八十の坂を越した私どもが、こ

のように元気で集まることができ

語り合い、歌い、歩き廻ることが

できるのは、本当に幸甚なことと

思います。これは一重に、丸山丈

作校長先生が、七十年前の昔、

今のように歩くことが重視されな

かった時代に、歩くことを奨励さ

れ、ご自身範を示されて鍛えて下

さった賜物と、しみじみ有難く感

謝申し上げて居ります。

五十年振りの同窓会



一九四二年
第六高女の
一年に在学
し、その後
中国へ帰国
なさった林
貞子(欧仁
蘇徳)様を
囲んで五十
年振りの同
窓会を十一
月に行なっ
たそうです。

戦争を挟み念願の国交回復をむかえ、旧交をあたためたひとときをもたれた由、これからはたびたび会を持てることでしょう。

メルボルの友を訪ねて

——ミニ同期会——

10—3 河野 慶子

筑波の通産省研究所で活躍の級友、中西房枝博士のお誘いで、メルボルンで開催の学会に便乗し、現地でも十年の生活をされ、近く欧州に戻られる予定の村岡桂子さん(旧影山)をお訪ねする話がまとまり、本年二月、なつかしい顔が現地の大学キャンパスに揃いました。筑波から中西さん、東京から大

(旧黒田)、航空会社勤務の旅慣れた福本登美子さん、が各々仕事の関係で違う日に出発。私も一足先に名古屋空港を立ちました。二月十三日午後、学会最終日、タスマニア経由航路でメルボルン入りの福本さんと私が中西さんの待つモナッシュ大学内の宿舎を探す間もなく、佐野夫人を空港で迎えた村岡夫人の車に大学構内で偶然に会い、賑やかな再会となりました。その後三日間、村岡夫人のご案内でコアラ、ペンギンは勿論、ご夫妻の教えておられる大学、私は特に日豪協会をお訪ねする機会を作って頂き有意義な時をすごさせていただきました。以前村岡さんからの便りで、ホスピスの奉仕をされていること、長年の活動に対して表彰され、首相主催のお茶会に招かれたことを伺い、是非詳しいお話をと願っておりました。



寒風の吹くペンギン島の夜、海から戻る親達を待つ子供ペンギンを前に私は質問しました。彼女は静かな口調で活動を始めた頃、最近の相手の様子など話されました。移民の国とはいえ、死期の迫った患者さんが、日本人である村岡夫人に心を開き、安心して語りかけていく過程が伝わって来て、本当に胸を打たれる思いでした。村岡邸での夕食会では現地で日本語を教える町田敬子さんも加わり六人の楽しい会話が、いつ迄も絶えることなく、という様で、同席の村岡教授もさぞびっくりされたことでしょう。今年末には再び欧州、今度はオランダでのご生活が始まるとのこと、私にとってもなつかしの地での益々のご活躍とご家族の皆様のご健康をお祈りしてベンを置かせて頂きます。

私の道づれ

18—1 力石 啓子

「そんなに、生やさしいものじゃないよ」母は心配顔だ。東京新聞主催全国舞踏コンクールに出場するかどうかで迷っていた。母は日本舞踏五十年のベテラン、私も幼い頃より習い親しんできた。高校一年の秋一応名取になった。大学卒業の時、私は結婚の道を選んだ。その後もこつこつ稽古を続けた。主人の転勤に伴い四年間の海外生活を送り、踊りを離れて九年の歳月が流れていた。



今一度踊りに取り組みたいという想いが心の底から泉のようにあふれだした。以前のような稽古の日々が始まったが、体の感覚を忘れていて様にならない。もっと自分を厳しい状況に置いて鍛えるチャンスはないかしら……気持は焦り方法を捜しあぐね悩んでいた。そんな折のコンクール。やってみようか、どれ程自分の力が回復出来るか。たとえ入賞出来なくても、下手でも仕方がない。自分の納得する踊りを心がけよう。そうすれば後悔はするまい。母も選曲のアドバイスから厳しい指導まで協力を惜しまなかった。ビデオを駆使し練習、直しの繰り返しが続いた。四月十四日、日比谷公会堂においてコンクールは幕を切った。出番が近づくにつれ体が硬くなっていくのが解る。心とは別のところで体は静かに動き始めていた。必死で息のつまりそうな時間が過ぎていった。文部大臣奨励賞、東京都知事賞、東京新聞賞、日本舞踏協会賞を贈られ、私の舞踏生活はこの時新たなスタートを切った。

今昔田

特集・写真で綴る

題字
40—5
小林克久

■三田高校略歴■ 三田高校(旧制府立第六高等女学校)の創立は大正12(1923)年。開校当時は、まだ校舎がなく、第三高等女学校(現都立駒場高校)の一部を間借りして授業をした、というエピソードが残っています。大正13年~15(昭和元)年にかけて旧校舎が完成。北棟、南棟、西棟の三棟に別れ、それぞれが廊下でつながっていました。南棟と西棟の間には時計塔があり、第六高女、三田の時代を通じて、学校の象徴的存在でした。昭和5年にはプールが落成。翌年にはその上に建物を乗せ、当時としては画期的な屋内温水プールとなります。プールの上の建物は同窓会館として同窓会(現ワカバ会)が所有し、講習会などに利用されました。体育館は木造でしたが、当時としては最新の設備を有していました。しかし、天井が低く、球技には向かなかったようです。第二次大戦での空襲被害もなく戦後。旧制府立第六高女は、都立三田高校として生まれ変わり、男子生徒も入学するようになりました。昭和28年、創立30周年記念事業として、南棟校舎の屋上に図書館を設置。広くて明るい図書館は、好評を博します。昭和44年、老朽化した体育館を全面改築。現体育館が完成しました。また、校舎の老朽化も著しいため、全面改築を決定、手引坂側の、旧校舎時代で言う「校庭」と「上のグラウンド」にまたがって、鉄筋コンクリート6階建ての新校舎建設に着手しました。新校舎は昭和52年に完成。現在に至ります。

■三田界隈■ ここ十数年の三田付近の変化はかなり大きく、手引坂下の三田警察署一帯が昭和50年前後に大規模な再開発を受け、高層ビル「三田国際ビル」となったのを筆頭に、田町駅付近や三田通りにも高いビルが増えました。三田通り拡幅計画に伴うここ2、3年の変化はさらに著しく、三田通り沿いの古い商店は、軒並み移転することになって、今の三田通りは正に「虫食い」状態。日一日、その姿を変化させています。



▲現在の三田通り

■高橋登志先生訪問記■

〈略歴〉

第六高女第1回生として卒業。
1946年から1978年まで母校で英語の教師として勤務。

現在同窓会理事としてご活躍中。

〈近況〉

趣味の謡・聖書研究会に顔を出したりして過ごしております。

ワカバ会理事会に月一回出かけています。

《登志先生インタビュー》

〈授業関係〉

●授業風景はどんなでしたか？

先生がいらっしゃるとそれぞれ立っておじぎをして始まるんです。指名される時に答えられないのは嫌でしたから、みんなちゃんと予習はやっていましたよ。

●写真で見ると

難しい吊輪などをなさっているようですが……

体育の時間でやっていました。私なんかは下手な方でしたけど。



〈学校生活〉

●クラブ活動などは？

クラブというものはなくて、課外授業がありました。エスペラント語や英語をはじめ、化学なども希望者がとってました。大学に行く人のためにも特別の授業がありました。

●遅くまでやっていたわけですか？

せいぜい4時くらいまでです。

●お昼はどうしていましたか？

みんなお弁当で先生とご一緒に教室で食べていました。

●制服はあったんですか？

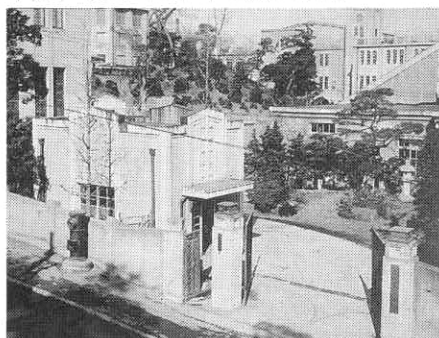
はじめは自由で着物や袴の人も少々いました。2年のときに制服が出来ました。

●どんな制服ですか？

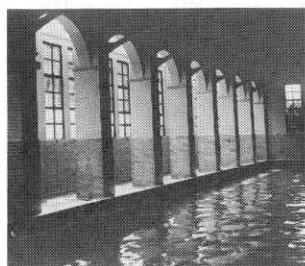
白いブラウスにジャンパースカートです。それに上着がありました。下にブルマーをはいていて体育のときはスカートを脱ぐだけですむという合理的な制服でした。上級生になると上着を裁縫の時間に自分で縫いました。

●なにか会員の皆様へメッセージを……

第六時代に仕込んでもらったことは良く身につけているようです。若い頃良く歩かせてもらったので今でも良く歩けます。軽井沢山荘を使って同期の人達と年一回の集まりをもう十年続けてきました。学生時代にやったことは80の今になっても体が覚えていて行動できるようです。大変ですが、勉強だけではなく遊ぶことも含め若いうちにいろんな事を大いにやってください。



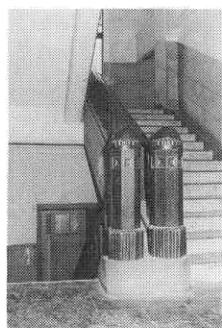
旧校舎の時計塔
高女時代の授業風景（化学）
旧校門（昭5～昭49）
校地の南東端（坂の下側）にあった。門左の建物は守衛小屋。



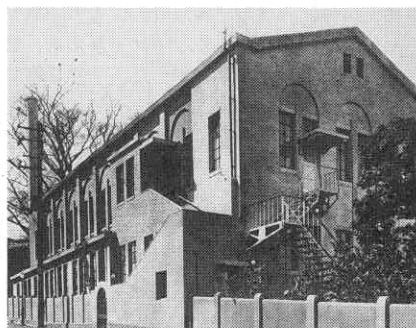
屋内温水プール（旧）
昭6の完成当時、女性の泳げる屋内温水プールなど、ほとんど皆無であった。そういった意味でも画期的な設備であったといえる。



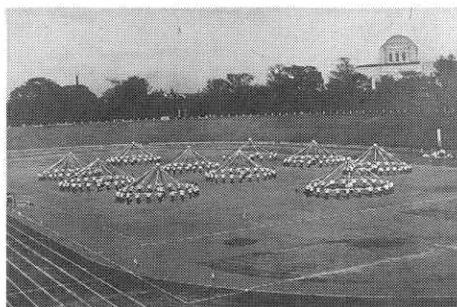
旧校舎・階段
旧校舎・廊下



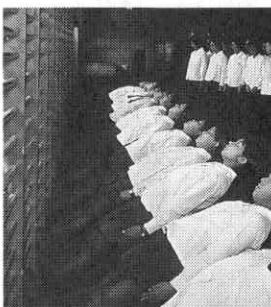
ワカバ会館（同窓会館）
手引坂に面して建てていた同窓会館。下層は上記の温水プール、上層に集会場などを備え、ワカバ会主催の講習会などに活用された。昭49解体。



初期のメイボール
現在も続く体育祭の風物詩、メイボールは、昭3に行われた第一回運動会から既に行われている。歴史は60年以上。



器械体操の授業（昭和初期頃）
当時はかなり高度な器械運動も授業で普通に行われていた。旧体育館は、完成当時最高の設備を誇り、肋木、跳箱、平均台などはもちろん、釣輪や鞍馬まで装備されていた。



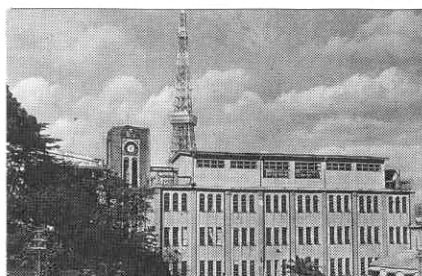
最初普通に「文化祭」と呼ばれていた。「三田高祭」をへて白珠祭に。現在は9月中旬に2日間に亘って行われ、毎年盛り上がりを見せる。
〈球技・水泳大会〉
10月に行われる校内行事。バスケット・バレーボール、卓球、サッカー、水泳と多彩な競技が2日間かけて行なわれる。

〈白珠祭〉
毎年6月に開催されている。白熱した競技だけでなく力強い応援も見どころ。
〈体育祭〉
三田高校は第六高女の時代から様々な行事が行なわれてきた。現在でも白珠祭、体育祭をはじめとしてたくさんの行事が行なわれている。

多彩な行事



▶旧校舎と東京タワー
東京タワーは昭33完成。
旧校舎晩年期の一枚。時計
塔右の南棟屋上は図書館。
◀体育祭(昭40年代)



▲現在のオセンチ山

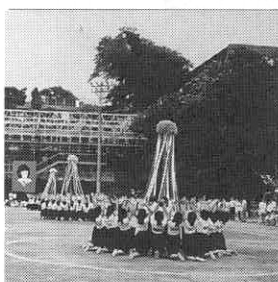
唯一創立当時の面影を残す通称オセンチ山は、今も生徒達の憩いの場。

▼道路側から見た新校舎

校舎は6階建。道路に面して建っている。



▼にぎわう白珠祭(昭50年代後半)
文化祭「白珠祭」は昭39からの名称。
◀新校舎への引っ越し
昭52、新校舎が完成。生徒をも動員した引越作戦が展開された。写真は旧校舎南棟前の校庭に運び出された、実験室器材の山。



▶現在の授業風景(化学)
現在の校服は男女ともブレザー。
黄色いナデシコバッジは今も健在。
▲現在も続くメイポール
現在、体育祭は狭いながらも敷地内のグラウンドで行われる。



◀合唱コンクール
クラス対抗で歌声を競う。各クラスとも練習に熱が入る。



◀臨海実習
海岸で生物の観察などを行う理科の実習。名物のわらじを履いて様々な生物を観察した。現在は行なわれていない。

◀スキー教室
第六高女の時代から始まった。現在も任意参加で続いており、非常に人気が高い。
◀国際理解シンポジウム
三田高校の特徴の一つである国際性のある行事。外国人講師を招いて行われる。



山荘セミナー 豊かな明日へ

8-5 佐々木 道子

家族旅行では利用した事のある山荘ですが、今回はじめて山荘セミナーに参加致しました。講師は同級生の鳥居さんで、久しぶりに顔を合わせる仲間が遠く九州、鈴鹿から応援にかけつけ、クラス会をかねた様なにぎやかさでした。昼間の暑さはどこへやら、夕方にはさすがに軽井沢に吹く風は、都会のそれとは違って何ともさわやかで自然のクーラーでした。『豊かな明日へ自分発見時代』と題して夕食後、予定時間を大分オーバーして熱弁をふるわれました。人生八十歳を大幅にすぎ、まさに高齢化社会に突入しつつある現在、私達これからの生活設計は経済的にも色々な知識を身につけ、自分のお金を殖やし管理していく工夫が大切だし、精神的に余裕がないとぎすぎすしてくるので趣味を持ちたり友達との交流の中で自己啓発してゆく。でも一番肝心なのは、運動や食事による健康管理である。たくさんの人と会って脳を刺激し、出来るかぎり思いやりを持って社会活動やボランティアへの参加をする。経済面の話は講師の得意とする分野で、今までの銀行の経験

を生かして年金の話、各種預金、国債ファンド、MMCなど利率の事から殖やし方など、詳しく説明された。私事で恐縮ですが、私は二年前に九十歳で母を亡くしました。母はまさに明治女を地で行った様な人で、人の世話には出来ないが、人の世話にはならないをモットーに最後までチャンと生きた人でした。この母を手本としていけば、まさに講師の言う豊かな明日へつながっていくのではないのでしょうか。暮れてゆく軽井沢に確かな思い出を残しました。



コーラスのつどいに参加して 13エ 五島 千香子

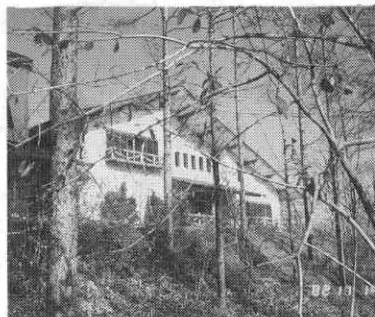
「コーラスのつどい」に参加するのは二度目である。昨年の「わかば」誌上で先輩の書かれた感想

文を拝見して心動かされ、すぐ参加の決意をした。一人では心細いので、クラス会で話してみたら、忽ち同好の士が集まり、六人で参加させて頂いた。そして、その六人が口々にその楽しかったことを宣伝したので、何と今年は13エから八人も参加することになった。

加藤先生の飾らないチャーミングなお人柄は、もう昨年十分に存じ上げているので、再びお目にかかることが出来るのは嬉しかった。カルーゾの発声、とおっしゃる先生の発声法は難しく、一朝一夕に会得出来る訳はないが、少しでも声が出るように、皆一所けんめいだった。そして、いよいよ待望の歌の練習が始まった。メロディもいけれど、しゃれた歌詞の「きのうのカメ」そして「贈る言葉」を歌い出す頃には、もう無我夢中で声を張り上げていた。武田鉄矢は私のごひいきなのである。テレビで耳馴れた歌も、自分で歌うとなると、なかなか難しい。時にソプラノとアルトの間に、新しいパートを自作自演してぎよつとなったりした。お茶とお菓子まで出て、最後に先生の独唱を聞かせて頂いて、惜しみながら閉会となった。楽しい時間は本当に早くたつものである。

ふだんは老夫婦二人だけの生活

で、大きな声で歌をうたうことなど忘れていた私にとって、実に心身共に若返った気分になり、元氣いっぱい帰京したことであった。



昨年の行事

—運営委員会主催—

ヨガの集い

平成3年7月

第六回 山荘セミナー

豊かな明日へ！

平成3年7月

コーラスの集い

平成3年9月

第八回 親睦ゴルフコンペ

平成3年9月

★今年の行事予定は別刷りにあります。ぜひ御参加下さい。

自然と親しむ会

4-6 江沢 淳子



三田高校を昭和二十七年に卒業して早や三十九年が経ちました。親らしき務めも終え長年やって来た塾もひとりで停年を決めさあこれから「飛んじゃおう」と思っていた矢先、わかばの自然と親しむ会「知られざる日光」に参加致しました。本来山好き海好き人間なので服装も自己流で出かけたのですが、日光駅で皆さんの出で立ちをみてびっくりしました。完全な本格派、ニッカーボッカー、山用のリュックサック、キャラバン靴その上雨が降ったらポンチョ etc この種の催し物に初参加の私も、同窓生の気安さからすぐ奥日光の知られざる世界へと未知なるもの

への遭遇に胸をときめかせ、喜々と皆さんについて行きました。

第一目覚えているのは、勝道上人の墓、滝尾神社、滝尾道の途中で、大小べんきんぜいの碑があったのは面白かった。徒歩約六軒延々とつづく杉の木立は圧巻でした。六月と云うのに蟬がいない。エゴハルゼミとのこと、重い身体は数々の植物や昆虫に魅せられて、いろは坂でやっと車中の人となりました。宿舎の手前で降り竜頭の滝を見ました。滝と言っても幅がひろくてゴウゴウと流れて壮観でした。後で写真を見ましても滝のようにとはとれていませんでした。

宿舎での色々な山菜のてんぷら食後の一人一人ユニークな自己紹介、ああ同じ学舎の先輩後輩はいものだと時の経つのも忘れて、つかれもとけて行きました。

二日は自然の一大パノラマ、戦場ヶ原です。美しいのなんのって気が遠くなる程、まさに森は生きているの別世界、古今東西これ程美しい風景画に、いまだかつてお目にかかった事があったでしょう。私の稚拙な言葉では申訳ありませんので是非一度出かけられてはと思います。皆さま、笠原先生、先輩佐々木昭様、事務局の齋藤様、ありがとうございます。

史蹟探訪の会

今回は四年ぶりに琵琶湖を訪ねました。湖東から甲賀へ、十一面観音をめぐりながらの巡礼です。同窓生の楽しいおしゃべりを交えながら、講師の笠原最季雄先生と共に、秋の湖東の旅を満喫しました。これはその時の写真です。



「ガスの科学館とビール工場」を見学して

29-7 森田 玲子

会報を見ると「夏休み一日バス見学会」の字がすぐ目に入りました。ガスの科学館は、去年見学を計画しながら体調をくずし、いまだに行かずじまい。まして、長い夏休み、どこに行くにしても一人で三人の娘達を連れていかなければならない私です。これは、魅力ある企画でした。

さて、当日は、晴天に恵まれ、東京ガスの手配して下さった大型バスでガスの科学館へ行きました。

実験あり、実物ありで楽しいものでした。特に近未来都市模型は、子ども達と一緒に目を見開かさんばかりに見入っていました。また心のこもったコンパニオンの方の応対により、私まで心が優しくなっていく様でした。

次に、サッポロビール千葉工場へ行きました。ビールの生まれる過程をゆっくりと見、その後、出来たてのビールを味わいました。中でも、大型トラックへ運び入れる作業をあっという間に機械で行うところは圧巻でした。

さらにバスは、葛西へと向かいましたが、あいにくの交通渋滞と白波のため、港めぐりは中止となり、東京駅にて解散することになりました。

帰路に着く頃には、諸先輩方とも親しくお話をたくさんさせていただきました。今回、企画して下さいました大先輩、佐々木様に御礼申し上げます。ただ、こんなに素敵な企画があるのに、なんと参加者の少ないことだろうか残念に思いました。さて、来年は、どんな企画でしょうか。多くの参加を願います。

一日見学会

東京湾冬鳥観察見日記

7-3 齋藤 節子

12月5日(木) くもり

朝10時、行徳駅に集合。笠原先生と参加者6名、12分も歩くと、千葉県立行徳野鳥観察舎に到着。備付の望遠鏡で早速観始めると砂地に羽を休めるスズガモ達が見える。堤防にはダイサギが白い羽毛を風になびらせ、水中の杭には鶺鴒が来てとまった。ハシビロガモやコガモ、オナガガモの番が泳ぐ。遠い空にチュウヒ(タカ)の影を捉えた。と、見る間に砂地のカモ達は、一斉に空に舞い上った。

昨年の行事

企画委員会主催

第六回 自然と親しむ会

平成3年6月

第五回 史蹟探訪の会

平成3年11月

へ一日見学会

ガスの科学館と港めぐり

平成3年7月

行徳と葛西水族館

平成3年12月

★今年の行事予定は12ページにあります。

委員会報告

総務委員会

本委員会では、前回の名簿(一九八五年版)発行より相当年数を経過しているの、その間の会員の変動並びに前回の時点では消息を把握できなかった人達の情報を集め、一層充実した内容の名簿を作成する作業をすすめています。

委員長 小野 絃一(8-3)

高橋 登志(1E)

鈴木美智子(9-3)

平山 孔嗣(29-2)

企画委員会

昨年も企画委員会の催しに多数ご参加頂き有難うございました。年代を越えて同窓生の友情が広がって行くのをよこんで居ります。平成三年十二月九日に委員会を開き、本年度の企画を立てました。別掲の記事をご参照の上お申込み下さい。一日見学会はこの所定員に余裕のある状態です。一日の中に有意義な内容がしっかりとつまって居ます。多数ご参加下さい。

委員長 佐々木 昭(5A)

瀧本阿弥子(13イ)

中村左都子(7-2)

事業運営委員会

平成三年度軽井沢山荘及び鶴ノ木駐車場運営について報告します。山荘は天候不順のため利用者数がやや減少、大人八七八名、小人一四〇名、幼児六名でした。尚、昨年度計画した従業員休憩室が開荘を前に完成。皆様に食堂でゆっくりくつろいで頂けるようになり好評でした。

駐車場は平成四年一月より料金改定、月額三万円で現在の契約台数は二十三台。唯今全面舗装に改善する準備が進んでいます。

委員長 山口謙一郎(8-1)

杉本貴久子(16オ)

竹内 和世(5-4)

齋藤 節子(7-3)

中垣 俊二(8-2)



総会風景

平成2年度決算・平成3年度予算

科 目	平成2年度決算額	平成3年度予算額
I 収入の部		
① 基本財産運用収入	5,555,088	4,500,000
② 会費・入会金収入	5,893,100	5,930,000
③ 事業収入	7,531,714	7,400,000
④ その他収入	9,783,237	4,190,000
当期収入合計 (A)	28,763,139	22,020,000
前期繰越収支差額	37,654,538	47,820,972
収 入 合 計 (B)	66,417,677	69,840,972
II 支出の部		
① 事業費	12,969,865	16,586,000
② 管理費	5,485,323	7,330,000
③ その他支出	141,517	100,000
当期支出合計 (C)	18,596,705	24,016,000
当期収支差 (A)-(C)	10,166,434	△ 1,996,000
次期繰越収支差額 (B)-(C)	47,820,972	45,824,972

広報委員会

今年も又「わかば」の編集にわたれる時期となってきました。忙しい編集メンバーが集まるのは、だいたい土曜日の午後で、一度集まるとつい熱が入って、時間のたつのを忘れることもしばしばです。できあがりをご覧ください。

委員長 小川しげみ(7-7)

小針 淳(40-3)

押原 建三(40-8)

柳沢 孝子(22-2)

戸田 雅子(19-1)

笠原 俊也(15-4)

中垣 俊二(8-2)

会計委員会

平成三年度の本委員会もこの年間同じメンバーで会務を行ってきております。新しいメンバーによる委員会の活動が渴望されます。会務は堅実な処理が要求されます。その中で財産の管理運用に努力しております。開催日は四月一日、五月一日、六月一日、九月二六日、十一月二八日、十二月二七日です。

委員長 笠原 俊也(15-4)

松永佐智子(12エ)

玉置 修次(5-4)

齋藤 節子(7-3)

平山 孔嗣(29-2)

総会報告

第五十四回ワカバ会総会は、平成三年五月十九日午後一時より母校音楽講堂に於て開催された。定足数、百名に対し、一三七名の会員が出席、若菜会長を議長に選出、次の議案が承認可決された。

- 一、平成二年度事業報告・決算
- 一、平成二年度監査報告
- 一、平成三年度事業計画・予算案

次いで午後二時より懇談会にうつり、今年卒寿を迎えられた、旧職員小此木先生の御発声による乾杯で開宴、歓談のうちに恒例の福引も行われ午後四時散会した。

『総会福引賞品当選者ご紹介』

明食ディナー券 26-6 村松 三生 43-1 坂本 愛 山荘ベア宿泊券 16オ 杉本 貴久子

羽根布団 1A 杉本よしえ 時計 6ア 時光富子 19-2 片山優子 43-4 藤縄 晶 43-4 飯沢かおり 旧職員岡島潤

理事等報告

4 月理事会 出席 10 名

○決算・予算、総会、山荘工事。

5 月理事会 出席 11 名

○決算・予算、総会、山荘工事等。

評議員会 (10 日) 出席 60 名 (含、

委任状) 総会議案、理事一名選任

を承認。

第 54 会総会 (19 日) 出席一五五名

総会のと、親睦会食、福引等。

6 月理事会 出席 9 名

○各委員会報告。山荘運営委託交

渉の経過、駐車料、山荘工事等。

9 月理事会 出席 10 名

○駐車料改訂、会員名簿発行準備。

広報は手空きの 8 月より行動開始。

11 月理事懇談会 出席 6 名

1 月理事会 出席 10 名

○各委員会報告。駐車場改修工事。

会員名簿発行準備、会報「わか

ば」発行準備。

2 月理事会 出席 8 名

○各委員会報告。平成 3 年度決算。

平成 4 年度予算案、第 55 回総会の

準備、会員名簿発行準備。

3 月理事会 出席 8 名

西村三郎名誉会長を偲んで

先生は昭和三十七年四月三田高校校長に着任と同時にワカバ会会長就任。その後先生の御発案によって、ワカバ会の歴史に大きな変化がもたらされた。

その一、卒業生から会長を選出する。会則変更の上初代会長としてそれまで長く同窓会に献身された篠塚光 (1C) さんが選出就任。同時に先生は名誉会長となられ、以後歴代の校長先生は着任と同時に名誉会長となる。会長には現在二代目として若菜允子 (高 5-4) さんを選出、御活躍中。

その二、会則文の表現変更。会則変更により、ワカバ会の名に片仮名をのこす他、わかばと平仮名を会報に用い、会則文も、漢字片仮名まじり文語文から、新憲法新法律と同じ平仮名まじり口語文と変更。

その三、同窓生親睦の為に、軽井沢山荘建設。丸山先生からいただいた国分寺の土地売却をもとに山荘を建てるの願いを同窓生役員と共に、近頃への土地検分に同行、建設者、管理者選び等、積極的に相談役になって下さった。初代会長篠塚さんと同年であられたこともあって、同窓生が独立する為の人事経済両面に常に有難い御忠告をいただいたことを謹しんで感謝申しあげ、御冥福を祈る。

追悼

謹んでご冥福を
お祈りいたします

所 属 没年月

西村三郎 (第七代校長)	3・2	牧田文子 (足田)	4・エ	3・5	毛利命子 (戸部)	14・オ	3・3
堺俊子 (旧職員)	2・3	小川安子 (白石)	4・エ	3・8	池田英子 (小海)	18・エ	3・12
西澤恒治 (旧職員)	2・7	池内見代子 (末常)	5・ア	3・4	出光孝子 (東原)	20・イ	61・12
中村佑二 (旧職員)	3・6	荒井春子 (三野村)	5・ア	3・4	山本昌子 (武井)	22・イ	61・5
杉山文雄 (旧職員)	3・7	井上とし子 (椎名)	5・イ	2・6	鈴木恒子 (松山)	22・エ	
河上光一 (旧職員)	4・2	酒井静枝 (服部)	5・ウ	3・7	栗林美智子 (坂本)	女 23・5	49・1
大鐘 節 (旧職員・2D)		太田露子 (大谷)	5・エ	3・8	井上美代子 (萩原)	1・1	60・10
永渕幸子 (今井)	1・B	星野彰子 (西村)	5・エ	3・7	山本満里子 (本多)	2・1	2・6
吉嶺世志	1・B	白井とみ (梅津)	5・オ	3・7	笹本容子	3・2	3・4
笠貫美智子 (稲垣)	1・C	高城伊都子 (松田)	6・ア	3・10	山口久子	3・3	2・10
羽山 淑 (天花寺)	1・C	藤田喜美 (貝塚)	6・イ	3・7	紙田敬子	3・7	3・10
塩見富美 (福富)	1・C	谷口ソノ子 (住田)	6・エ	3・2	佐多光早子	4・1	
高木久子 (上島)	1・D	小川明子	6・エ		北村協子 (阿部)	4・6	2・12
中島 玉 (吉田)	1・E	田中君子 (竹中)	7・オ	3・4	山崎満き子	4・7	
板倉千代子 (萩原)	2・C	柳沢隆江 (小沢)	7・ウ	2・9	澤田一弘	5・1	60・7
中村枝美子 (松岡)	2・D	古川美都子 (大野)	8・イ	3・10	片木英子	5・4	2・12
久野なつ (西)	2・E	山崎田鶴子	8・エ	3・12	原 鐸子 (上島)	7・6	3・3
山口みち子 (塙)	3・B	居崎俊子 (岩瀬)	9・ア	3・3	岡田登輝弥	7・7	3・6
山瀬喜美子 (西谷)	3・B	川島満喜	9・オ	3・3	小笠原滋	8・2	4・1
杉山雪江 (松永)	3・C	田所ちづ (松岡)	10・ウ	3・5	宇佐美葉子	8・6	60・9
佐野 糸 (酒井)	3・C	園田文江 (中桐)	11・ウ	63・7	辻井裕子	9・1	4・1
志塚重代 (増田)	3・C	大谷房子 (山田)	11・エ	3・5	内之宮和子	9・3	
伊藤ツル	3・D	海老沢良子	12・ア	2・7	藤井昌子 (原田)	9・3	59・12
川久代 (河合)	3・E	下里千代枝 (岩尾)	12・イ	3・11	高柳佳子	10・2	
東井勝枝 (千葉)	3・E	山本昌子	12・イ	3・7	小平時子 (町田)	10・6	3・2
野口 徳 (栗村)	4・エ	布施文 (中谷)	12・ウ	62・8	川上憲昭	11・5	63・1
	3・4	松井節子 (高森)	12・ウ	2・12	篠原孝子 (堀)	13・2	2・6
		保谷千恵子 (石渡)	13・ア	元 12	土屋哲夫	19・6	2・9
		鈴木照子 (内田)	13・ア	元 9	近藤富美子 (中山)	24・4	3・1
		渡辺三千恵 (高橋)	13・ウ	元 3	中村重光	30・4	2・10
		山中綾子 (外山)	13・ウ	元 11	田村 幸	34・3	63・4
		三上安恵	13・エ		松浦慎一	41・3	3・9
		工藤敏子	13・オ		藤井綾子	42・2	4・1

事務所だより

◇会員名簿発行について

名簿原稿調査票(ハガキ)の返送、消息不明者の情報、広告申込に加え、早々と代金をお振込み下さるなど、名簿発行に向けて会員の皆さまより多大なご協力を頂き、深く感謝しております。6月にはお手許へ届けられるようにと頑張っておりますので、もう暫くお待ち下さい。

尚、振込用紙紛失の方は、郵便局にある振込用紙をご利用下さい。(振込先 東京5-132719 社団法人ワカバ会名簿係) 卒業回(年度)組、氏名、旧姓、住所、電話番号を必ず記入して下さい。

◇会費納入のお願い

本年度も未納会費・維持会費の納入にご協力下さいまして有難うございました。

ワカバ会の会費制度は昭和60年に現行制度に改正され、要旨は、終身会費を完納された会員の方々に、今後は会の維持発展のために毎年1口2,000円の維持会費を任意に納めて頂くというものであります。現行制度も6年を経過した現在、実に多くの会員の方々が会費を納めて下さり、中には2口以上、または数年分をまとめてお納め下さる方もあり、たいへん感謝しております。ワカバ会は皆さまの会費で運営されております。今後とも維持会費(年額1口2,000円)の払い込みにご協力下さい。

会費の納入には同封の振込用紙をご使用下さい。住所、氏名の外に旧姓、卒業回(年度)組、電話番号も忘れずにお書き添え下さい。ご不明の点は事務所まで。

◇消息不明者にならないで下さい

氏名、住所、電話番号が変わった時は、必ずワカバ会事務所にご連絡して下さい。手紙でも電話でも結構です。

クラス・同期・OB会などの活動も、ご存知のことはぜひ、ワカバ会までお知らせ下さい。尚、ご連絡の際は卒業回組または年度、氏名、旧姓、住所、電話番号をお忘れなくお願いします。

◇ご寄贈

15イ兼常(溪口)澄子様より自筆の日本画を京都で仕上げられた扇子3本と団扇3本のご寄贈がありました。有難うございました。

◇7年間、ご苦労さまでした。

事務所を手伝って下さっていた中島紀子さんが、5月一杯で辞められました。永いこと、有難うございました。

東京都立三田高等学校同窓会

社団法人 **ワカバ会**

▶ワカバ会の事務

時間 午前10時30分～午後4時

休日 土曜日・日曜日・祝祭日

▶連絡先

〒108 港区三田1-4-46

電話 (03) 3451-0227

振替 東京8-81170

参加しませんか!

—企画委員会主催—

第7回 自然と親しむ会

この度は、マイクロバスで冬の伊豆沼を訪れます。伊豆沼は、日本に渡来する雁の70%が集まり、白鳥、鴨たちの越冬ぶりは見事なものです。講師は勿論笠原最季雄先生。ご参加をお待ちしています。

期日 平成5年1月23日(土)～24日(日)1泊2日

定員 20名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 約2万5千円(宿泊、バス、保険料他)

申込 11月30日までにワカバ会事務所に電話で。

◇要項は参加者全員に配布します。

第6回 史蹟探訪の会

今年は思い切って3泊4日の予定で「熊野古道」を歩きます。講師はお馴染み笠原最季雄先生です。奮ってご参加下さい。

期日 11月21日(土)～24日(火)3泊4日

定員 25名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 5万6千円(現地バス代、宿泊費、保険料他。

集合地までの往復運賃自弁)

申込 8月10日までにワカバ会事務所に電話で。

◇要項は参加者全員に配布します。

《一日見学会》

江戸と明治をたずねる

(王子、飛鳥山あたり)

初夏の一日、今に残る江戸と明治をたずねます。講師は笠原最季雄先生です。

期日 6月21日(日) JR南千住駅午前10時集合

定員 20名(申込先着順、定員になり次第締切)

参加費 1,000円(弁当持参、交通費・拝観料自弁)

申込 6月1日までにワカバ会事務所に電話で。

◇申込まれた方は当日南千住駅へ直接お集まり下さい

奥多摩散策の会

早秋の多摩川辺りに造り酒屋を訪ねたり、静かに昼食をたのしんだりのくつろぎの会です。ご案内は笠原最季雄先生。皆さまのご参加をお待ちします。

期日 9月17日(木)

定員 20名(定員になり次第締切)

参加費 8,000円(ままごとやの昼食代を含む)

申込 7月31日までにワカバ会事務所に電話で。

◇要項は参加者全員に配布します。

事業運営委員会主催行事

＜コーラスのつどい＞

今年も加藤恭二子先生のご指導でコーラスのつどいを催します。静かな秋の夜、たっぷり歌うたのしみは山荘の集いならではの…です。奮ってご参加ください。

- ・期 日 9月3日(木)～4日(金)
- ・定 員 20名
- ・参加費 7,400円(申込金 5,400円)

＜ヨガのつどい＞

「ヨガ」は年毎に好評を博し、今年も二夜に亘り講習会を催します。講師はお馴染みの千葉紘子(元宝塚スター汐風享子)さんです。皆さまお誘い合わせでご参加ください。初めての方もぜひどうぞ。

- ・第1日 9月12日(土)
- ・第2日 9月13日(日)
- ・参加費 1泊 7,400円(申込金 5,400円)
2泊 13,800円(申込金 10,800円)

＜第9回 親睦ゴルフコンペ＞

親睦ゴルフコンペは第六から三田まで、男女幅広い方々でお楽しみいただいております。腕に自信の有無は問いませんので、あなたも思い切って参加なさってみませんか。お申込みをお待ちしております。

- ・期 日 9月5日(土)～6日(日)
- ・場 所 軽井沢72ゴルフ・東コース
- ・集 合 9月5日 AM9:30
東コースクラブハウスフロント前
- ・スタート AM10:00(雨天決行)
- ・プレー方式 ダブルペリア方式
- ・定 員 7組 28名(受付順)
- ・参加費 33,000円
(外に申込金として宿泊費 5,400円)

※各行事の申込金は山荘宿泊料金です。

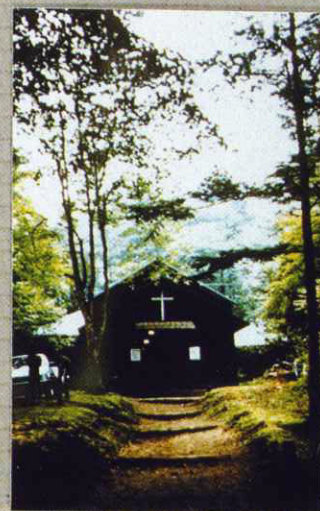
▼ワカバ会軽井沢山荘新館



山荘までの案内図



KARUIZAWA MAP



KYU-KARU GINZA MAP

◆開荘期間 7月17日(金)～9月27日(日)
◆利用料金 (1泊2食付・消費税非課税)
大人……5,400円(7月及び9月)
5,900円(8月)
小人……4,000円(4歳から小学6年生)
幼児……2,500円(1歳から3歳)
乳児……無料

◇貸切利用（原則として土・日は不可）
 7月・9月…18名以上、但し18名未満でも
 97,200円払い込まれた場合
 8月…18名以上、但し18名未満でも
 106,200円払い込まれた場合
 何れの場合も全館貸切でご利用になれます。

◆利用時間

チェックイン	15:00
チェックアウト	10:00

◆山莊連絡先 TEL 0267-48-1940
長野県北佐久郡軽井沢町レイクニュータウン内
山莊の予約申込、催物の参加申込その他山莊に関するお問い合わせはワカバ会事務所へお電話下さい。
(ご宿泊は新館のみとなっております)
・ワカバ会事務所 TEL 03-3451-0227
(月～金 10:30～16:00・土日祝は休み)

◎予約、催物の参加申込は5月1日(金)より受け付けます。(10名以上での申込は常時受付)
◎飲物、昼食、お弁当等ご希望に応じます。

◆**有料道路料金**
 関越自動車道 練馬 I C→高崎 I C
 87km **2,400円** (普通車)
 碓氷バイパス **210円** (普通車)

◆鉄道(JR)
上野→軽井沢 特急利用約2時間
運賃+指定席特急券 4,720円(片道)
☆自由席なら「Qきっぷ」利用がおトク
都区内↔軽井沢 4日間有効 7,600円
(往復運賃・特急料金込み、新幹線利用可)

◆路線バス
草軽交通・西武バス・J Rバスの各社が、
軽井沢駅・中軽井沢駅を起点に各方面へ路線
をを展開。しかし、小人数で余程遠くへ行かな
い限りタクシーの方が便利。

◆タクシー
軽井沢駅→山荘 15分 2,500円程度
「レイクニュータウンのワカバ会山荘」で
通じます。山荘への配車もOK
草軽タクシー TEL 0267-42-2221
松葉タクシー TEL 0267-42-2181

